

安心設計

コチョウスレドモ
ウソハツカナイ



版元：東京ペンギン堂本舗
豊島区北大塚2-26-1-1F

今年も銀座に行きました

今年も例年にも増して銀座 大好きな路地・三原小路の薄
タッチしてきたのは、界隈で 暗さを演出してた銀座コアが
映画を沢山見てきただけじゃ 更地になって、細道に少し日
なく、情けない話、毎週のが 差すようになり、景色が変
うに病院通いしてたせいなん わって楽しいには楽しいので
です。銀の輔を連れていかず すが、振り向いた時にあった
に、ただ築地や明石町の病院 ものが消えている違和感に、
への往復で通り過ぎるだけ、 なかなか慣れないんですよ。

歌舞伎座の裏、木挽町通り
でひっそり佇み続けてた長屋
風木造家屋も、食べ進める羊
羹みたいにならず短くなっ
て、雑草生える更地のままと
いうことは、いずれ残された
家屋も消えてしまう運命なん
だと思わずにはいられ
ません。



そんな変化は街のお
約束、まして天下の銀
座にノスタル爺さんの
戯言は通用しません。
でも「銀座東」と書か
れたローロー引きの町
名板を見つけると、つ

い心の中でガッツポーズを決め
てしまう私たちがいるのです。

思わぬ所に外国人観光客の大
行列があったり、いつの間にか
東急プラザの名前が変わってい
たり、小一時間もコインパーキ
ングを利用すると三千円近くか
かったり、スルーしがちな世界
的ブランドショップのギャラ
リーで素敵な展覧会をやってい
たり、驚きや楽しさは相変わら
ず健在な今年の銀座でしたね。



令和7年行く読む食う

ヒルマ・アフ・クリント

堀内誠一

絵金

ウィーン・スタイル

抽象絵画の歴史を塗り替えると言われたクリントの回顧展に並んだ巨大絵画が醸し出す心の平穏と、土佐派の異端児・絵金の強烈な行灯絵の極彩色が突き刺す強烈なパワー。この両極端アートの打ちのめされましたね。

邪気のない優しい絵本、見るだけで心弾む絵地図、そしてアンアンやオリーブ、ポパイ創世記のイメージと思想哲学を創り上げた堀内誠一のカラフルで幅広い世界観には、改めて脱帽しました。

パリがパイオニアだと思いきや、アート、服飾から家具に至るまでのシンプルでモダンスマートなデザインが存在を知りました。

そして念願の横尾忠則美術館に行けたことも、今年のエポックメイキングな事件でした。

写楽百面相

戦時下の歌舞伎巡業

もっと早く読むべきであった泡

坂妻夫の時代小説。着物の紋章師にしてプロ級の奇術の腕前を持つミステリ作家は、うちの近所に住んでいたけど無注目だった。寛政の改革期の江戸を舞台に、川柳句集の版元を主人公に、大河ドラマべらぼうでお馴染みの面々が登場する三十年以上前のミステリ。江戸文化、言葉、流行に精通し、町

の特徴から距離感まで知り尽くした泡坂の博覧強記がさりげなく散りばめられ、読み進めるうちに街歩きしたくなる一冊でしたよ。

歌舞伎の狂言作者として活躍する一方で、戦前戦中戦後の巡業興行の企画製作から金策に列車や宿の手配までひとりで取り仕切った竹柴薪助が書き残した克明な日記が語る悲喜こもごもの巡業記録。待遇や食事、宿の良し悪しままで綴られていて、かの名優たちの苦労があったからこそ、現在の歌舞伎人気なんでしょうねえ。

舞伎人気なんでしょうねえ。

千草

イノダコーヒ三条店

パン・デ・フィロソフ

甚六が閉店して行き場を失っていたお好み焼き屋だけど、千草に巡り会えたのは幸運でした。味や接客の素晴らしさもさることながら、買物途中のおばちゃんが、ひとりお昼ご飯を食べに来る風景に感動しました。お好み一枚食べてさっと帰る格好に、思わず唸っちゃった。

好良さに、思わず唸っちゃった。京都の朝はイノダ三条店じゃないと始まらない者にとって、長い工事期間は拷問ですって。ようやく竣工し復活した三条店の円形テーブルは、いやや楢円になり、メニューが激増して若干不安なだけで、三々五々

ご常連が訪れる開店直後の静かな雰囲気そのままに、あの個性的コーヒを味わえただけでいいや。

パン好きにとってフィロソフのバゲットに出会えたのは、今年の大収穫。香り食感味わい共に格別で、しかも優しい値段という奇跡のベーカーリー。近くにある同経営のレストランのランチがまたパンに合うの！

2025年映画の旅

旅と日々

ジェイムズ・フッカー

「ニューオリンズのピアノ王子」

教皇選挙

ワン・バトル・

アフター・アナザー

国宝

ザ・ザ・コルダの

フェニキア計画

名もなき者

/A complete unknown

トワイライト・ウォーリアーズ

「決戦！九龍城砦」

キムズ・ビデオ

ヒプノシス

「レコードジャケットの美学」

今年は四十二本の映画を見たけど、音楽関連映画が豊作で、選外にもミッシェル・ルグランやブルース・スプリングステイン、ジルベルト・ジル等の秀作が色々ありました。アンダーグラウンドで始まったジャケットデザインチームがみるみる表舞台に進出していくヒプノシスは、ロックの歴史的名作の舞台裏が生き生きと描

かれました。伝説の超絶ピアニスト、ジェイムズ・フッカーの映像が見られただけで、この映画は心に残り続けるでしょう。ティモシー・シャラメのディランは、恐ろしいほどディランでしたね。フォーク史に欠かせない大御所たちが散りばめられ、字幕だから分かる歌詞の凄さは、確かにノーベル文学賞だわって思います。

辛うじて返還前の香港を知っている者としては、トワイライト・ウォーリアーズに再現された世界観への郷愁がたまらなかつたです。カンフー映画のバトンタッチは、激変する街と文化、どっこい粘り強く生き続ける人々への敬意を感じました。

だらしなないディカプリオが素晴らしいかったワン・バトル……もザ

国宝を見て一番思ったのは永瀬

ザコルダも家族関係の修復がテーマなのに、そんなことを忘れてしま

正敏の格好良さでした。おおい応

まうストーリーテリングにのめり込みました。でも本当に修復でき

為における北斎もクールでしたも

ババンババンパイアとの振り幅の

凄まじさに感激しました。でも

追いついたか？は疑問ですけどね。両作

やっぱり旅と日々でしょうなあ。

の演技も顔も楽しくて、ついつい

映画は映画でなければ表現できない

い掛けずタイムリーな作品になっ

本のような作品でした。意表を突

た教皇選挙、最高峰の聖職者であ

くプロローグ、堤真一の凄み、大

るはずの人々の野望と陰謀と駆け

引きがスリリングでしたが、何と

言っても映像美！真っ赤な法衣に

僕らに沢山の余韻と思いを抱かせ

真っ白な傘のシーンは圧巻です。

る美しい映画だったんです。

真っ赤な法衣に

僕らに沢山の余韻と思いを抱かせ

真っ白な傘のシーンは圧巻です。

る美しい映画だったんです。

真っ赤な法衣に

僕らに沢山の余韻と思いを抱かせ

真っ白な傘のシーンは圧巻です。

る美しい映画だったんです。

真っ赤な法衣に

僕らに沢山の余韻と思いを抱かせ

バックナンバーはこちらです！



北口番外篇
P横丁的日乗
ペンギン堂雑貨店咆哮

「やあペンギンさん、おはよう!」、
「おはようございます!」。折戸通りからちよいと外れた路地にある謎のバー、Kスバーのマスター鐘ヶ淵さんは、相変わらず元気な大先輩だ。

「NHKの七十二時間でやった山下書店は素晴らしい番組でした!大塚も捨てたもんじゃないって見直しましたもん」、

「あなたのバンドのライブチラシが何度も映って、その度にクスって笑っちゃいましたよ」、

「ライブチラシを貼って下さいって頼みに行った

ら、気を利かせた店長さんが大量コピーして、あちこちに貼ってくれたんですよ」、

「深夜の書店には、色んな人生を背負った人がやってくるんですね。早寝早起きのアタシには想定外の物語が沢山出てきました」。

「残念なニュースは鳥忠の閉店ですよ」、

「そう、十二月に入って急に告知したんで、ビックリしました」。創業六十五年という大塚屈指の歴史を持つ飲み屋さん、というか大衆割烹みたいな、地元民なら知らぬ者のない人気店。「いつも混んでるし、ランチも大賑わいでしたけどね」、

「閉店理由は知らないんですが、人手不足なのか、建物の老朽化なのか、もっと別の理由なんでしょうか」、

「アナタが挙げた原因の合せ技かも知れませんか」、

「以前はクリスマスになると、店頭で鶏のものを焼くのが恒例行事で、うちの店が宮仲公園通り沿いにあった頃は、そのもうもうつたる煙が見えましたからね」、

「あの煙を見ると、クリスマスだなぁ、暮れも押し詰まってきたなあって思ったものですよ」、

「こうして街の顔がひとつづつ消えていくんでしょうね」、

「まあ東京の街の宿命です」。

「それだけに山下書店には頑張って欲しいんですよ」、

「大晦日も元旦も休みませんからね」、

「コロナ禍だったか、一日だけ閉まってたことがあって、思わず写真撮りましたから」、

「山下書店が閉まる時は大塚が終わる時かも:」、

「じゃあこれから正月休みに読む本でも探しに行きますか?」。呑気な迷コンビの馬鹿話は続く。

あなたとわたしの
演芸の友
東京かわら版
毎月二十八日を待て

毎月10日ごろ出ますよ



本の雑誌

江東区の楽しい
美味しい情報がいっぱい



イラスト・デザイン
いろいろやります



白玉社
siratamasya

編集後記のようなもの

良いお年をーというよりは、あけましておめでと
うございます!ですね。

令和七年は最低の体調のまま過ぎてしまい、公私ともにボロボロな年になりました。年を取ったら落ち着くと思ってたのに、人生で最も落ち着かない日々を送りました。

まあ過ぎたことをガタガタ言っても仕方ないんで、令和八年こそ真っ当に暮らしたいものです。Pしんぶんも沢山作れるよう頑張りますので、よろしくお願い致します!

大感謝配布協力店

池之端・古書ぼうろう、雑司が谷・旅猫雑貨店、法善寺横丁・洋酒の店 路、目黒・ふげん社、浅草・珈琲アロマ、神宮前・シーモアグラス、大塚・山下書店、深川・エンミニチ文庫、浅草橋・かみふく書房。